



令和3年度

## 出前講座の開催報告

北の住まいるタウンの考え方を広くお伝えし、先進的な取組事例や意見交換を通じて、まち・地域づくりに活用していただくための出前講座を、旭川市、北見市、帯広市の3地域で開催しました。

実践市町村に学ぶ取組事例として、旭川会場では沼田町、北見会場では江別市、帯広会場では津別町の取組についてご紹介いただきました。

話し合いの場づくりのコツとファシリテーション技術に関する講義のあと、グループワークで、北の住まいるタウンの3つの取組から、日頃課題と感じていることや地域の資源・取組のアイデアについて話し合い、今後のまちづくりのあり方をともに考えました。

### 日時

令和3年

旭川会場 10月18日(月)

北見会場 10月19日(火)

帯広会場 10月25日(月)

いずれも 13:00~16:00

### 参加者

29名(旭川9、北見9、帯広11)

### ● 出前講座のプログラム

#### 説明:北の住まいるタウンとは

誰もが安心して心豊かに住み続けられるまち・地域を目指し、「コンパクトなまちづくり」「低炭素・資源循環」「生活を支える」取組を一体的かつ連携して進める「北の住まいるタウン」の考え方を説明しました。



コンパクトなまちづくりの取組



低炭素化・資源循環の取組



生活を支える取組

#### 事例紹介:実践市町村に学ぶ「北の住まいるタウン」



会場のようす

それぞれの市町村で進めている「コンパクトなまちづくり」「低炭素・資源循環」「生活を支える」取組の事例について紹介いただきました。

旭川会場:沼田町の取組

北見会場:江別市の取組

帯広会場:津別町の取組

#### 講義:話し合いの場づくりのコツとファシリテーション技術

取組を進めるうえでは協働のまちづくりが大切です。効果的な話し合いの場づくりのコツと、創造的な意見交換を促すファシリテーションの技術について、個人ワークと講義を通じて学びました。



創造的な話し合いの場作りについて説明

#### グループワーク:課題や地域資源・取組のアイデア

北の住まいるタウンの3つのテーマの1つを題材に、参加者の市町村の具体的な取組や、日頃課題に感じていること、課題解決に必要なことなどについて意見交換しました。最後に、それぞれのグループで出された意見を全体で共有しました。



グループワークのようす



全体で各グループの意見交換の内容を振り返り

#### 参加者の声(アンケートより)

事例が大変参考になった。  
ワークショップも自分たちがやる際に活かしたい。

他市町村との交流ができ、お互いの課題共有は貴重な時間になった。

課題などを整理していくと、今行われなければならないことが整理できる。共有することが大切だと感じた。

## ●事例紹介：沼田町

講師：沼田町産業創出課 大原 利啓 氏

市街地で歩いて暮らせる半径 500mに町民生活に必要な機能を再編・集約して、多世代の交流拠点を創出しています。中学校跡地を活用し「医療」「福祉・子育て」「介護」が集積した暮らしの安心センター、町・商工会・JA が連携整備した商業コミュニティ施設、小・中学校やこども園による子育て環境の充実、まちなか集住やデマンド乗合タクシー等により、暮らしやすさを実現しています。これらの推進にあたっては、住民参加による勉強会やワークショップなどを重ね、計画づくりや施設整備を行いました。



講師の大原氏



町・商工会・JAが連携したまちなかホットタウン

## ●事例紹介：江別市 (オンライン)

講師：江別市政策推進課 鈴木 康祐 氏

誰もが仕事や生きがいを持ち、地域で暮らしつづけられる共生のまちづくりをめざして、札幌盲学校跡地をモデル地区に、民間団体を誘致して介護施設や地域交流拠点施設等を整備した「ココルクえべつ」をオープン。施設や近隣住民、市内に4つある大学や、地元産業、商店街などと連携しながら、生涯活躍のまちづくりを進めています。また取組推進のためにコーディネーターを複数名配置し、市民ワークショップによるつながりづくりや交流アイデアの実践などを進めています。



講師の鈴木氏(オンラインでの講義)



ココルクえべつ施設イメージ

## ●事例紹介：津別町

講師：津別町住民企画課 加藤 端陽 氏

地域資源を生かしたコンパクトなまちづくりを進めるまちなか再生事業に取り組み、令和3年5月に地元材をいかした複合庁舎建替を整備しました。また生活の利便性と賑わいの創出をめざした図書館・交通拠点・買い物拠点の集積した施設を令和5年5月のオープンを目指し準備中です。民間企業による整備後の施設買取方式や町による企業誘致など、民間活力を生かした事業推進を工夫しています。官民協働のまちづくり会社の創設や、経済とエネルギーの地域循環にも取り組んでいます。



講師の加藤氏



地元材を活用した複合庁舎のイメージ

「北の住まいるタウン」の取組の内容についてまとめたガイドブックをWEBでご紹介しています

発行：北海道（建設部 建設政策局 建設政策課）電話 011-204-5284（担当：高山）

編集：「北の住まいるタウンに係る普及啓発業務」受託事業者：株式会社石塚計画デザイン事務所

[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kks/kitasuma\\_top.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kks/kitasuma_top.htm)

2021年11月発行



facebookページもご覧ください  
「北の住まいるタウン」

